



2025年 6 月 27 日

各 位

上場会社名 ダイハツインフィニアース株式会社  
代表者 取締役社長 堀田 佳伸  
(コード：6023 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員 水科 隆志  
(TEL. 06-6454-2331)

## 取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値向上を目指すため、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 評価の方法

より客観的な視点を取り入れるため、今期におきましても、外部機関の協力を得て取締役会実効性評価を実施いたしました。外部機関は、以下の項目に関して、取締役10名および監査役3名に対する匿名アンケートを行い、その結果を集計・分析し、課題の取り纏めを行いました。当社は、外部機関の結果を踏まえて、2025年6月27日開催の取締役会において実効性の分析・評価を実施いたしました。

- I. 取締役会の構成について
- II. 取締役会の運営について
- III. 取締役会の議題について
- IV. 取締役会を支える体制について
- V. 取締役会としての株主との対話
- VI. 取締役・監査役による自己評価

#### 2. 評価の結果（概要）

評価の結果、取締役会全体の実効性については、概ね適切に確保されていると評価されました。前期アンケート結果をもとに見直しを図ったことから、今期アンケートでは全体的に改善する結果を得ました。一方で、以下の点について、議論の必要性を認識いたしました。

|    | 課題                  | 対応方針                                                                 |
|----|---------------------|----------------------------------------------------------------------|
| I  | 取締役会の多様性確保          | 当社の中長期的な成長や企業価値向上の観点から、多様性に配慮しつつ、ジェンダーや国際性を含む取締役の候補者選任について検討してまいります。 |
| II | 取締役会の議題の事前検討時間と配布資料 | 社外取締役を含めて事前検討時間が確保されるように、資料配布時期への配慮や、必要なポイントを意識した資料作りについて取り組んでまいります。 |

|   | 課題                 | 対応方針                                                                        |
|---|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| Ⅲ | 取締役会の議題            | 取締役会において、当社の企業戦略の大きな方向性を示す議題について、さらなる議論を深めていけるよう取り組んでまいります。                 |
|   | 指名・報酬諮問委員会の答申の活用   | 指名・報酬諮問委員会からの適切な情報共有を受け、経営陣の後継者計画、報酬、選任・解任など、取締役会における議論及び監督機能の向上に役立ててまいります。 |
| Ⅳ | 各取締役に必要なトレーニングについて | 各取締役が必要とする研修機会の提供や、テーマを決めたeラーニングの実施など、積極的な運用を検討してまいります。                     |
| Ⅴ | 株主との対話             | 株主とのより建設的な対話を促進するため、IRチームの強化とIRチームからの適切な情報提供を受ける仕組みについて検討してまいります。           |

### 3. 今後の取り組み

当社取締役会は、本評価結果によって確認された課題や各取締役からの提言を踏まえ、より実効性の高い取締役会の実現に向けた施策を実行してまいります。

以 上